

日本天文学会評議員会 議事録

日 時：1999年3月26日（金） 12時00分～13時00分

場 所：京都大学 人間環境学研究所 会議室1

出席者：家、池内、今井、尾崎、小杉、谷口、長谷川、

半田、松田、古屋、上野、岡村、

奥田、海部、加藤、小平、小山、鈴木、須藤、福江、福島、吉田

出席者22名 欠席者 8名うち委任状4名。

他に理事会から庶務理事 大石、柴田、会計理事 立松、紀伊が出席議事に先立ち、議長に福島登志夫氏を、署名人に岡村定矩氏、長谷川哲夫氏を選出した。

議事の経過及び結果

1. 前回（1999年1月23日）の評議員会議事録が報告され、承認された。
2. 1999年度日本天文学会春季総会について報告があった。
3. 1997-1998年度に渡る会費未納者のリストが提示され、その取り扱いについて議論を行った。期限（5月末あたり）を示して督促し、期限内に支払いのない会員は除名することが了承された。なお、除名会員が再び会員になるときは未納分の会費も納入すること、また、除名会員の未納会費は学会の債務として残り、督促を継続することが確認された。
4. その他

（1）PASJの出版・電子化にの状況について、有本欧文研究報告理事より説明があった。前回評議員会での報告の通り3月末には電子出版を開始できる見込みであること、また、これに伴う費用が当初見込みより約230万円ほど増加する可能性があることが報告された。

（2）池内氏より、学術会議便りを天文月報に転載したいこと、99年U月くらいにLMSAシンポジウムを開催したいこと、また、科学研究費補助金の審査員が現在の3名から6名に増えることに伴い次期審査員候補者（12名）は秋日あたりまでに選出する必要がある、ことが報告された。

（3）鈴木氏より「すばる望遠鏡完成記念切手」を発行してはどうかとの提案があった。

（4）国立大学・大学等共同利用機関を独立行政法人化するか否かの議論に関し、天文学研究連絡委員会のような場で議論するのが良い、ということで、学会としてもそのような議論をサポートすることを確認した。

（5）大石庶務理事より国立天文台総合情報棟の建設に伴い、現在の学会事務所を引っ越す必要があることが報告された。引越し時期は未定であるが、8月末までには引っ越す必要がある。

議 長：福島登志夫

署名人：岡村定矩

署名人：長谷川哲夫